

バイオエコノミー産業創出支援部会（補助金審査会 委員審査）について

広島県商工労働局補助金等審査会
バイオエコノミー産業創出支援部会

1 会議の概要

開催日時	令和6年5月20日（月）14時00分～16時00分
開催場所	本館B2会議室（広島県庁本館地下1階）
開催方法	対面方式及びオンライン方式を併用
出席委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産関係事業コーディネーター（外部有識者） ・広島県総務局研究開発課長 井下 岳司 ・広島県農林水産局農業技術課長 柴山 勝利 ・広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長 矢野 真治
議題	(1) 部会長の選任について (2) 令和6年度バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金に係る事業計画の審査について
担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム（医工連携推進担当）

2 議事要旨

(1) 部会長の選任

広島県商工労働局補助金等審査会運営要綱（以下「審査会運営要綱」という。）第3条第4項に基づき、委員の互選により、矢野真治委員を部会長に選任した。

(2) 令和6年度バイオエコノミー産業創出支援事業費補助金に係る事業計画書の審査

次の審査基準により、募集期限までに提出のあった4件について審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウェイト	応募者（順不同）			
			A	B	C	D
1 事業の妥当性	a 課題解決の的確性	× 1	3.5	3.3	4.0	3.3
	b 市場ニーズの妥当性		3.5	3.8	4.0	3.3
	c 補助事業の必要性・有効性		3.3	3.5	4.0	3.0
	d 事業内容の新規性・優位性		3.5	3.0	3.5	3.5
2 事業内容、実施方法の妥当性	e 事業結果（アウトプット）の妥当性	× 2	6.5	6.0	7.5	6.0
	f 実施体制の実効性・遂行能力①（経営資源）		7.5	6.5	8.0	7.0
	g 実施体制の実効性・遂行能力②（財務状況）		7.5	6.5	7.0	6.5
	h 事業経費の妥当性		6.0	5.5	6.0	6.0
	i 実施計画の妥当性		7.0	5.5	7.0	6.5
3 事業成果への期待度	j 事業効果（アウトカム）の妥当性・本県への経済波及効果	× 3	9.0	11.3	12.8	12.0
	k 事業化ロードマップの合理性		11.3	8.3	9.8	8.3
合計点数			68.5	63.0	73.5	65.3
採 否			採択		採択	採択

※本結果は、4名の委員の平均点によるものであり、基準点60点（100点満点）。

- ・審査における、各委員からの意見は次のとおり。

応募者	意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費について各実施段階における事業状況に応じて、適切に計上されている。 ・本県産業に対して、中長期的に寄与することが期待される。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外での需要は、まだまだ伸びることが想定される。 ・ゲノム解析について、共同研究により役割分担がなされている。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・製品化に至るまでのロードマップについて、スピード感を持った計画となっている。 ・技術の安全性について、客観的に示されている。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・開発技術を随時商品に投入するなど、上市に向けて積極的に取り組むスケジュールとなっている。 ・開発手法についても工夫がみられる。

- ・上記の審査の結果、次の3者について、採択が適当と認められた。

プラチナバイオ(株)、(株)FOOD & LIFE COMPANIES、三島食品(株)